

補助金対象事業種別	補助事業で行う事業名	補助を受けて解決したい課題や問題点は何ですか。	課題解決のために行う取組の内容の詳細を教えてください。 ※事例のため、一部商品名などは●に修正しています。	今回の事業でどのような効果を期待しますか。
A：生産性向上	財務ソフトによる業務効率化プロジェクト	現状、手作業により業務を行うことにより、作業効率の低下、手作業後の電子化を行う時点でのミスの発生、二重に作業する時間の浪費、情報共有時のミスの発生、インボイス制度への対応も課題となっています。	本プロジェクトでは、●●●●財務、●●●●建設業会計ソフトを導入します。●●●●財務ソフトでは、他社会計ソフトや経費精算、スキャナーで読み取ったデータなども簡単にシステムに取り込めますので、入力業務を大幅に削減し効率化。「インターネット会計（特許取得）」の搭載により、顧問会計事務所との連携した会計処理を実現。データ収集、チェックなどをトータルに効率化し、効率性に優れた業務環境の創造。インボイス制度の施工に伴う煩雑化が懸念される経理処理の効率化を図ります。●●●●建設業会計ソフトでは、●●●●財務の科目体系を、建設業の会計原則に基づいた科目体系に拡張します。	業務を電子化することによって、業務の効率化、時間の短縮、顧問会計事務所との連携した会計処理、インボイス制度への対応、建設業の会計原則に基づいた科目体系への対応、等業務環境の改善を図ります。
A：生産性向上	機械導入による生産性の向上	米作りに勤しんでおります。①稲作において管理作業はとても重要であり、苦勞するものであります。現状、6-9月の気温の高い中、田んぼの雑草処理を手持ちの草刈り機で時間をかけて行っており、体力面と時間面で問題を抱えております。また②収穫した稲の選別にポリメイトを使っておりますが旧式で経年劣化がひどく効率が悪いです。	①において、芝刈機●●●●を導入し、除草作業を効率化したいと考えております。●●●●とは、歩行用草刈り機であります。この機械を導入することで、今まで手持ちの草刈り機で身体全身を使って行っていた作業がレバーを握るだけで作業が行えるようになります。また、作業時間も1/2以下まで効率化が図れます。 ②において、ポリメイト選別機●●●●を導入し、効率化を図りたいと考えております。現在使っているポリメイトは作業効率は最大15俵でありますが今回導入予定の●●●●は作業効率は最大20俵であるかつ、選別能力が大幅アップします。おおよそ作業効率が1.4倍近く良くなります。	炎天下の中での作業であり、年々気温上昇・自分自身の体力の衰えを感じています。その中、①機械を導入することで、作業の効率化・熱中症対策・安全性の向上が見込まれます。また、他作業への時間費やせまず。②により作業効率上がり、また生産物の品質向上に繋がり、収益アップが見込まれます。
A：生産性向上/ C：人材育成	口腔内カメラ及び検査・画像等診療情報の一元管理システム導入による『患者さんへの治療説明・インフォームドコンセント向上』	『患者さんへの治療説明・インフォームドコンセント』は提供する医療の質において重要な点であるが、現状、撮影機器の不充分さ（口腔内の狭い部分、歯牙隣接面等の撮影機器の不足）及び撮影した画像が他の検査データ・検査画像・提供文書・電子カルテ記録など別PCでの複数管理の為、治療説明・インフォームドコンセントに必要なデータの準備スタッフの負担が大きい点が課題です。	課題解決のために歯科専門の口腔内カメラと一元管理システムを導入し、現在利用中の電子カルテシステムとデータ連携を行い、カルテデータ及びインフォームドコンセントに必要な患者さんの各種データを統合します。 データ統合により口腔内カメラ画像・検査データ・検査画像・提供文書・患者さんへの説明記録がカウンセリングエリア及びのタブレットにすぐに表示・活用できる環境となります。この環境になることで、患者さんへの治療説明の準備・実施に掛かる時間の大幅短縮が実現でき、その確保できた時間によって医療の質の向上・患者さんにおける治療計画への理解の向上、スタッフの負担・ストレスの減少に繋がります。 具体的には患者さん1人当たりのインフォームドコンセント準備に3分程度の時間を要しております。1日の来院患者数平均30名で約90分、一ヶ月平均20診療日で30時間を費やしております。インフォームドコンセントに関連するデータ統合により、1人当たりの半分の1分30秒程度の時間で処理、1日で約45分、1ヶ月で約15時間の業務効率化実現させたいと計画しています。	患者さんにおいては治療内容理解が深まり治療効果の上昇と、途中離脱される患者さんの減少に繋がり、その結果地域の患者さんの健康にこれまで以上に寄与できることと考えます。また一緒に働くスタッフにおいては、労力の軽減はもちろん、患者さんの満足向上・患者さんの健康への貢献といった喜びの増加も効果として考えています。
B：新事業展開	オリジナル商品の開発	現状、原材料の高騰や輸送費の高騰によりメーカー商品の卸価格の上昇、販売価格競争が年々激化しており売上はこういった要因に左右されています。	当社オリジナル商品を開発することにより、収益化することを目的とするものです。当社にとってメーカー仕入れ小売業から製品企画・販売への新規事業開拓にあたるものであり、当社独自の特色を深め高い安全性、環境へ配慮した自社製品を開発し販路の拡大を図るものです。当社の独自性を深め、収益確保のできる商品を販売し今後さらなる質上げを含め職場環境の改善を図ります。	原材料高騰、輸送費高騰によるメーカー卸価格の上昇、販売価格競争の激化に左右されることなく、独自性のある商品の販売により収益を確保し、従業員の賃上げ、職場環境（人手不足などの）の改善に務めます。
B：新事業展開	新製品(自販機用独立電源)の市場展開に係る、特許の取得及び広報媒体の整備	課題A：蓄電システムに関する知的財産の保護 新製品に活用している技術の模倣を防ぐ必要がある。 課題B：新商品の集客導線確保 新規顧客開拓のため、ネット上で顧客の集客導線を広く作る必要がある。	新事業：●●●●の市場展開 取組A：特許取得 新製品「●●●●」の市場展開に当たって、弊社開発の、「●●●●」について、知財保護を目的とした特許の取得を行う。 取組B：製品HPの作成 本HP上で、製品情報ページやお問い合わせフォーム等を実装し、本製品の導入を検討する顧客に対して情報提供及び接点の確保を目指す。また、より詳細な仕様や施工までの流れなどを説明するために製品のWebカタログを作成し、HP内に実装する。	■特許の取得 ・弊社製品への技術的な信用力を高める効果。 ・模倣品の出現による、販売機会の損失を防ぐ効果。 ■広報媒体の作成 ・これまで訴求できていなかった、遠方に事務所を構える顧客の開拓。

補助金対象事業種別	補助事業で行う事業名	補助を受けて解決したい課題や問題点は何ですか。	課題解決のために行う取組の内容の詳細を教えてください。 ※事例のため、一部商品名などは●に修正しています。	今回の事業でどのような効果を期待しますか。
C：人材育成	社内ビジネススキル向上研修プロジェクト	社員のITリテラシーやプログラミングスキルは高い一方で、ビジネススキルや会計スキルに課題がある。このスキル不足は、顧客へのシステム提案や意思決定支援の質に直接的な影響を及ぼし、業務の幅を狭める要因となっています。また、会計や経営学に対して抵抗感を持っているため、学習意欲の向上が難しい問題がある。MG研修を実施することで、楽しくビジネススキルや会計スキルを学ぶ機会を得たい。	社員がビジネススキルや会計スキルを効果的に習得できるよう、3回にわたるMG研修を計画しています。各研修は異なるテーマに焦点を当て、段階的にスキルを習得できる構成となっています。 まずはビジネスモデル体験を行い、基礎知識を身につけ、理解を深めることを目指します。具体的には、市場分析、顧客セグメントの設定、価値提案、チャネル、収益モデルなど、ビジネスモデルの各要素について学び、仮想のビジネスシナリオを通じて実践します。 次に、会計簿記体験として、基本的な会計知識を習得し、簿記の基礎を理解することを目指します。簿記の基本原則を学び、実際の帳簿作成を通じて会計プロセスを体験します。主に、取引の記録方法、貸借対照表と損益計算書の作成、財務諸表の読み方などです。これにより、経営の基本的な仕組みを理解し、財務状況を把握する能力を養います。 最後に、戦略会計と意思決定会計の体験として、経営指標の実践的な使い方を身につけることを目指します。コスト分析、予算管理、パフォーマンス評価、意思決定のための会計情報の活用方法などを学びます。経営シミュレーションを通じて、仮想のビジネスシナリオに基づく戦略的意思決定を実践し、経営指標の重要性を体感します。 この研修プログラムは、社員がビジネスや会計の知識を楽しく学ぶことができるよう、ゲーム形式で行います。学習への抵抗感を減らし、スキル習得を促進するのが目的です。 ビジネススキルや会計スキルを習得することで、社員の専門知識が広がり、より高度な業務に対応できるようになります。また、会計や経営の知識を活用することで、業務プロセスの効率化が図られ、業績の向上も期待できます。結果として、顧客のニーズに合わせた高度なシステム提案が可能となり、顧客満足度の向上に繋がります。	社員のビジネススキルや会計スキルが向上することで、顧客への提案力とシステム提供の質が大幅に改善されます。具体的には、顧客の経営課題を的確に把握し、より精度の高いソリューションを提供することが可能となるほか、社員が会計や経営の知識を身につけることで、内部の経営判断の質も高まります。ゲーム形式の研修にすることで、社員が楽しく学び、スキル習得への抵抗感を軽減でき、持続的な学習意欲も期待できます。
C：人材育成	農業ドローンオペレーターの認定講座受講	水稻・小麦・大豆などの農薬散布は外部に委託しており、委託費用が高額である。また、外部委託なので他の農家とのスケジュール調整が必要であり、適期で作業に入れない場合があり、生産性の低下の原因となっている。	農業ドローンオペレーターの認定講座を受講して、自社で米・麦・大豆の農薬散布や肥料散布作業を行える人材を育成する。 農薬散布作業では外部委託から自社での作業に切り替えることで適期で防除を行い、生産性の向上に繋げる。また、年間で約●万円程かかっている農薬散布の委託費を削減する。 肥料散布では背負い式の動噴を担いで人力で追肥（肥料まき）をしているが、農業ドローンで均一に散布作業を行い増収に繋げる。また、背負い式の動噴で肥料散布を行う場合、米で約5日、麦で約4日ほど作業にかかるが、ドローンで行うとそれぞれ1日で作業が行え生産性の向上にも繋がる。	自社でドローン作業を行うことで作業の効率化や作業の軽減を実現すると共に生産費用の削減を期待する。また、適期作業によって生産性や収量が向上することで売上が上がり、付加価値額の増加に寄与する。